

※今月のみ受注の書目です。

日本経済

「不安」の解析

経済学で考える現代日本の諸相 (2025 年 5 月中旬刊行予定)

亀田啓悟 (関西学院大学総合政策学部教授)・

井深陽子 (慶應義塾大学経済学部教授) [編]

A5 判上製 / 272 頁 税込予価 4,950 円 ISBN978-4-7664-3033-2 C3033

👉 ココに注目!

- ・「経済の不安」に理論で挑む!
- ・閉塞感を読み解き、将来への対処法を考える。
- ・経済不確実性を解き明かす新たな知見がここに。

先の見えない経済社会状況、将来の健康不安、叫ばれる財政危機、揺れる国家安全保障の方向性——。多岐にわたる課題を第一線の研究者が分析。理論と実証を組み合わせ、論理的な視点で未来を見通すための必読書。

対象 (現代社会および日本経済に関心の高い) ビジネスパーソン /

(日本経済に関する最新の分析動向に関心のある) 研究者、政策担当者

類書 脇田成『日本経済の故障箇所』(日本評論社)

【営業部からのおすすめポイント】

物価高や金融政策の転換、経済安全保障の課題など、不確実性が高まるなか、日本経済の未来を冷静に見通すためには何が必要なのか。本書は、企業・家計・政策の3つの視点から「不安」の本質に迫り、談合・カルテル問題からデジタル通貨、富裕税、財政リスクまで幅広いテーマを論理的に分析。経済学の視点から現状を理解し、今後の展開を考えるうえで有益な内容です。 (福本)

👉 主要目次、注文書、関連既刊を裏面に掲載! ぜひご確認ください!

【主要目次】

第Ⅰ部 企業の不安

第1章 談合・カルテルと課徴金減免制度の考察（鈴木彩子）

第2章 不確実性とマクロ経済（河端発龍・千賀達朗）

第Ⅱ部 家計の不安

第3章 中央銀行デジタル通貨：銀行貸出と匿名性（泉隆一朗）

第4章 富裕税導入に関する考察——貨幣効用モデルの応用（瀧川拓史）

第5章 景気変動が健康に与える影響——救急搬送データから得られる知見（井深陽子）

第Ⅲ部 政策の不安

第6章 日本の財政不安を考える（亀田啓悟）

第7章 政府国内債務再編成（阿曾沼多聞）

第8章 グローバル化と経済安全保障——二元論からの脱却に向けて（久野新）

新刊委託	番線	ご注文部数	亀田啓悟・井深陽子 編	税込予価	部数
			「不安」の解析 —経済学で考える現代日本の諸相 ISBN978-4-7664-3033-2 C3033		
			発行所：慶應義塾大学出版会		

★1つで「500部」を表します

関連既刊

返品条件付注文品	番線	ご注文部数	中妻照雄・白塚重典 編	定価	
			現代金融と日本経済 —市場・制度・政策の課題と展望 ISBN978-4-7664-2854-4 C3033	4,400 円	
			発行所：慶應義塾大学出版会		
			河野龍太郎 著	定価	
			成長の臨界 —「飽和資本主義」はどこへ向かうのか ISBN978-4-7664-2834-6 C3033	2,750 円	
			発行所：慶應義塾大学出版会		
			河野龍太郎 著	定価	
			グローバルインフレーションの深層 ISBN978-4-7664-2934-3 C3033	1,760 円	
			発行所：慶應義塾大学出版会		